

# 引込口配線諸工事

引込口配線諸工事の施設は、次により施設する。

〔注〕ここでいう引込口配線とは、引込線取付点から引込口装置に至る間の配線をいう。

なお、引込口装置とは、引込口以降の電路に取り付ける電源側からみて最初の開閉器及び過電流遮断器の組合せをいう。

## 1. 引込口配線の施設

- (1) 引込取付点から引込口装置に至る配線は、本冊1370節 引込み（本冊P.109）によるほか、以下の点に留意すること。

〔注1〕引込線の取付点より電力量計に至る配線は最短ルートとする。

〔注2〕電線を合成樹脂管、金属管に収める場合は、電力量計電源側と負荷側の電線を同一の管に収めないこと。

〔注3〕保守面（電力量計取替や漏れ電流測定など）を考慮し、電力量計まわりの配線は余長を持たせ（P.32第5図 計器取付板における配線方法参照）、計器取付板の裏面より入線させる場合、入線用のノックアウトの位置は極力下側とすること。

- (2) 電力量計に引下げる配線は、次図に示すように、原則として左側を電源側とする。



- (3) アパートの各戸に対する引込口配線は、この条の各号によるほか、次により施設する。

〔注1〕この号でいうアパートは、各戸が独立の住宅と認められるものについて適用する。

〔注2〕3階建て以上のアパートに対しては、東京電力と個別に協議する。

a. 接続幹線

接続幹線とは、引込線取付点より最終ジョイントボックスに至る配線をいい、(1)に準じるほか、次により施設すること。

- (a) 引込口に近い箇所には、雨水の浸入を防ぐ構造の箱などに収めた過電流遮断器を施設すること。
- (b) 施設場所は共用部分を選定すること。
- (c) 各戸に至る配線に分岐する箇所以外には接続点を設けないこと。

b. 接続幹線から分岐し、各戸の電力量計（変成器付計器においては低圧変流器）、タイムスイッチなどに至る配線

接続幹線から分岐し、各戸の電力量計（変成器付計器においては低圧変流器）、タイムスイッチなどに至る配線は、(1)に準じて施工するほか、次により施設すること。

- (a) 接続幹線からの分岐箇所は、露出した展開場所を原則とするが、接続幹線が隠ぺいして施設される場合は、点検可能な点検口を設けること。
- (b) 接続幹線からの分岐箇所に使用するジョイントボックスは、端子金具を有しない専用のジョイントボックスを使用する。ただし、屋側において分岐する場合は、合成樹脂管用ボックスなどの非金属製のボックスを使用すること。

c. 各戸の電力量計（変成器付計器においては低圧変流器）、タイムスイッチなどから各戸の引込口装置に至る配線は、(1)に準じて施工する。

- (4) 引込口配線は、電力量計に引下げ又は立上る配線を除き、地表上2.5m以上とすることが望ましい。

## 2. 電力量計などの屋内施設

東京電力と協議を行い、屋内に電力量計、タイムスイッチ又は低圧変流器を取付ける場合の引込口配線は、引込口屋外側からこれらの装置に至るまでの間をケーブル、合成樹脂管又は金属管による露出配線とし、前項（引込口配線の施設）に準じて施設すること。ただし、鉄筋コンクリート建築などにおいて工事上やむを得ない場合は、東京電力の承認を得て引込口屋外側よりこれらの装置にいたる間を、金属管により埋込配線とすることができる。

なお、電力量計、タイムスイッチ及び低圧変流器の取付板の施設は、「電力量計類及び計器箱の施設」による。

## 3. 引込口配線の接地側の見分け

引込口配線は、接地側電線を他の電線と区別するため、次の各号により施設すること。

- (1) がいし引き配線の場合、引込線取付点の電線配列は、次の表によるものを標準とする。

2 線 引	単相2線 100V 及び 200V	垂直配線	上	接地側		
			下	電圧側		
		水平配線	電源側より引込線取付点に向い	左側	接地側	
			〃	右側	電圧側	
3 線 引	三相3線 200V	垂直配線	上	電圧側		
			中	電圧側		
			下	接地側		
		水平配線	電源側より引込線取付点に向い	右側	電圧側	
			中	電圧側		
			電源側より引込線取付点に向い	左側	電圧側	

3 線 引	单相3線 100V/200V	垂直配線	上	接地側		
			中	電圧側		
			下	接地側		
		水平配線	電源側より引込線取付点に向い	左側	接地側	
				中	電圧側	
			電源側より引込線取付点に向い	右側	電圧側	
4 線 引	单相2線 100V 及び 三相3線 200V	垂直配線	上	電圧側	(対地電圧200V)	
			中上	電圧側	( 〃 〃 )	
			中下	接地側		
			下	電圧側	(対地電圧100V)	
		水平配線	電源側より引込線取付点に向い	右側	電圧側	(対地電圧200V)
			〃	右中側	電圧側	( 〃 〃 )
	〃		左中側	接地側		
	〃		左側	電圧側	(対地電圧100V)	
	三相4線 100V/200V 異容量 V結線	垂直配線	上	電圧側	(対地電圧173V)	
			中上	接地側		
			中下	電圧側	(対地電圧100V)	
			下	電圧側	( 〃 〃 )	
水平配線		電源側より引込線取付点に向い	左側	電圧側	(対地電圧173V)	
		〃	左中側	接地側		
		〃	右中側	電圧側	(対地電圧100V)	
		〃	右側	電圧側	( 〃 〃 )	

[注] 斜めに取付ける場合は、垂直配線の例による。

- (2) 接地側電線は、**内線規程（JEAC 8001）1315節**（極性標識）により、色別標識をする。

#### 4. お客さまに対するアンペアブレーカーの施設

アンペアブレーカーは、東京電力の所有とし、東京電力の負担で取付ける。アンペアブレーカー取付けのための電線施設は、次の各号による。

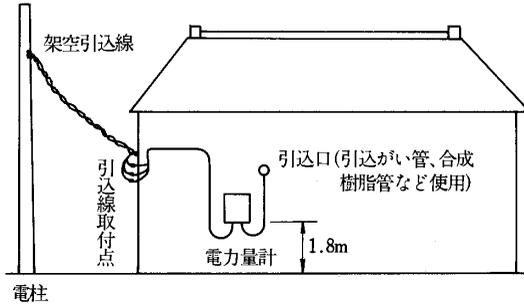
- (1) アンペアブレーカーは、屋内の引込開閉器電源側で、点検、試験、復帰操作及び保守に便利な場所にと付けることを原則とする。
- (2) アンペアブレーカー取付場所付近の配線は、**内線規程（JEAC 8001）1370-8**（引込口装置付近の配線）により施設する。ケーブル配線及び接地側電線に白（灰）色電線を使用する場合を除き、アンペアブレーカー取付場所及び計量器内の電線には、白色テープを巻くか、白ペンキを塗るなどにより接地側を標示する。
- (3) アンペアブレーカーの取付位置は、容易に充電部に触れるおそれがない構造の住宅用分電盤や、扉を有する堅ろうなキャビネット内とすること。

ただし、これ以外の場所に取付位置を設ける場合は床上1.8m以上2.2m以下の高さとするのが望ましい。また、取付けスペース確保のため、単相2線式100V配線の場合は、縦20cm以上横10cm以上、単相3線式100/200V配線の場合は、縦30cm以上横20cm以上それぞれ余裕を設け、かつ、取付のための接続余長として、電線及びケーブルは、10cm以上余裕をもたせる。

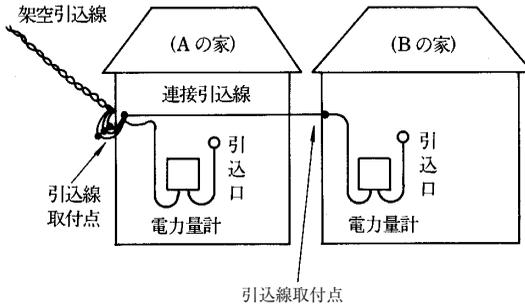
[注] アンペアブレーカーをキャビネットに収める場合は、その深さを単相2線式配線の場合は10cm以上、単相3線式の場合は12cm以上とする。

## 引込口配線関係図例

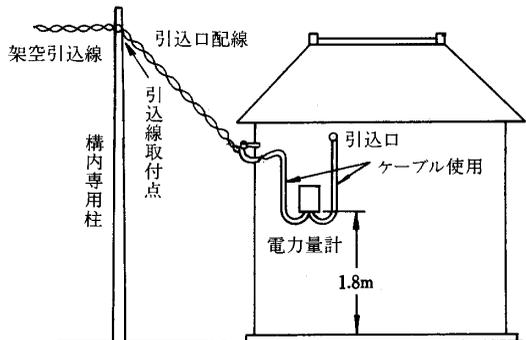
### 第1図 電力量計取付高さ及び配線方法の例



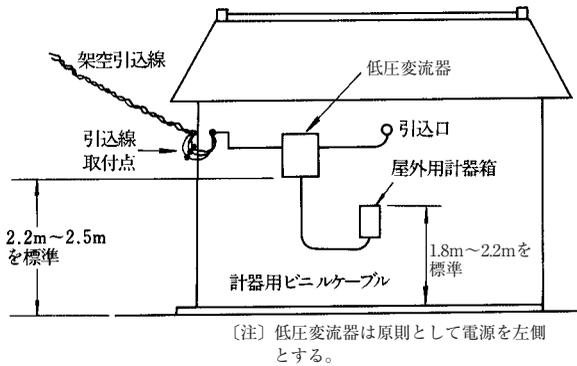
### 第2図 接続引込の場合の例



### 第3図 構内専用柱の場合

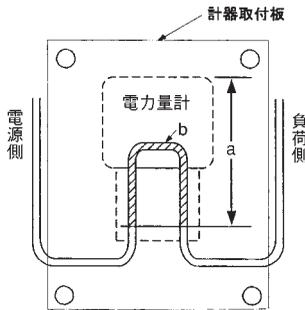


第4図 低圧変流器付計器の場合

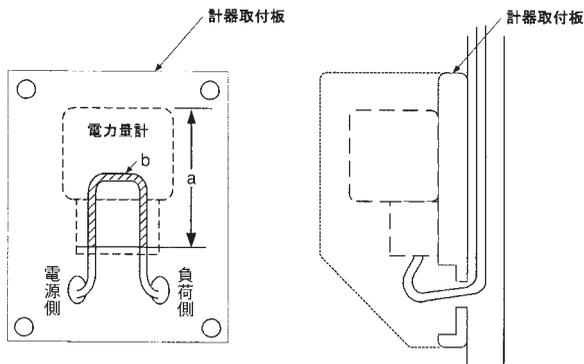


第5図 計器取付板における配線方法

①露出配線の場合



②隠ぺい配線の場合



※外壁内部への雨水の浸入及び防虫対策のため、貫通材内部の電線及び計器箱まわりについてコーキング処理などを施す。

〔注1〕 aの間隔（計器取付ネジからケーブルでは被覆はぎ取り口、金属管では、端口までの間隔のこと）は計器の容量によって、次の寸法とする。

	30 A 以下	50 A 以上
単相2線式	190 (mm)	250 (mm)
単相3線式及び三相3線式	260	330

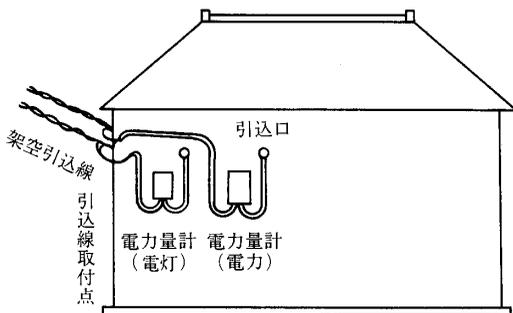
〔注2〕 bの電線斜線部は、25cm以上の長さとする。

なお、ケーブルの場合は、施設者において電力量計などの取付けに支障のないよう外部被覆をむいて防湿のためテープ巻きをする。

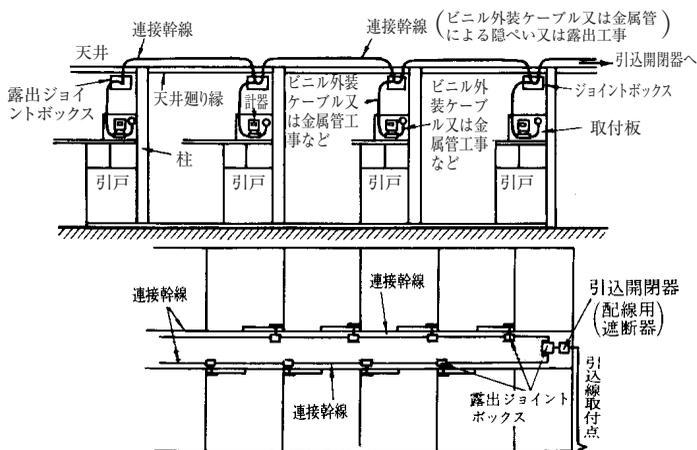
〔注3〕 ケーブルを曲げる場合の屈曲半径は、ケーブル外径の5倍以上とする。

〔注4〕 電源側が露出配線で負荷側が隠ぺい配線の場合は、隠ぺい配線の場合と同様に雨水浸入などに配慮した施工とすること。

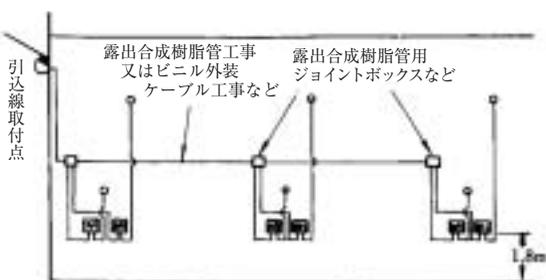
第6図 電灯及び電力引込みの場合の例



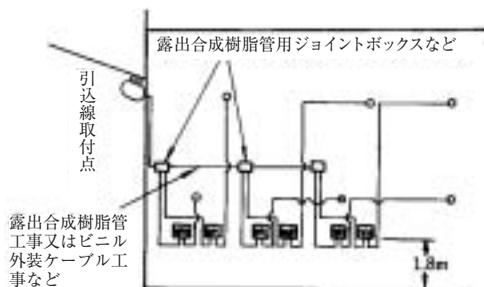
第7図 アパートの屋内に各戸計量する場合の例



第8図 アパートなどの屋外に各戸計量する場合の例

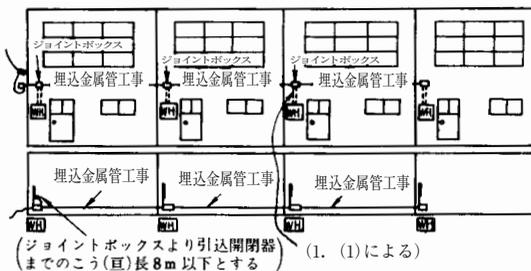


第9図 屋外に集合計量する場合の例

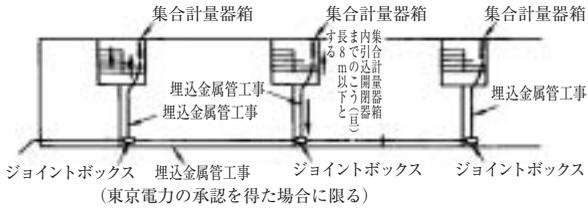


〔注〕 集合計量器箱を使用することができる。

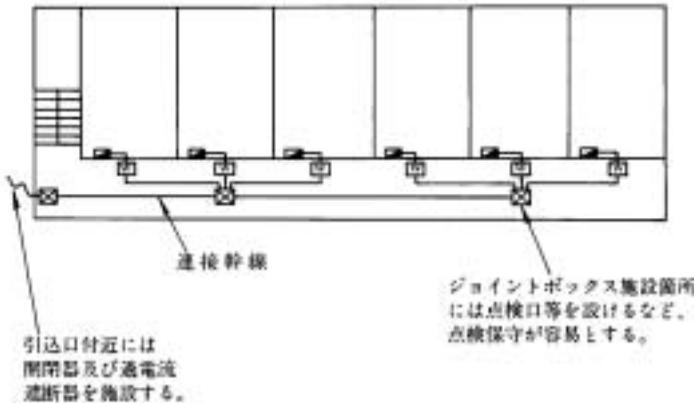
第10図 東京電力と協議の上、不燃建物に埋込金属管配線を行う場合の例



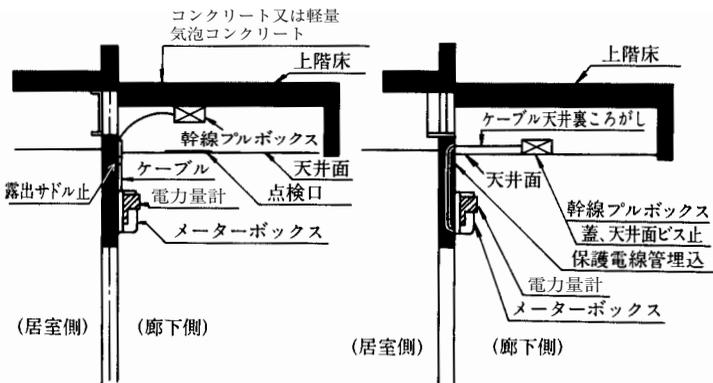
第11図 不燃建物で集合計量する場合の例



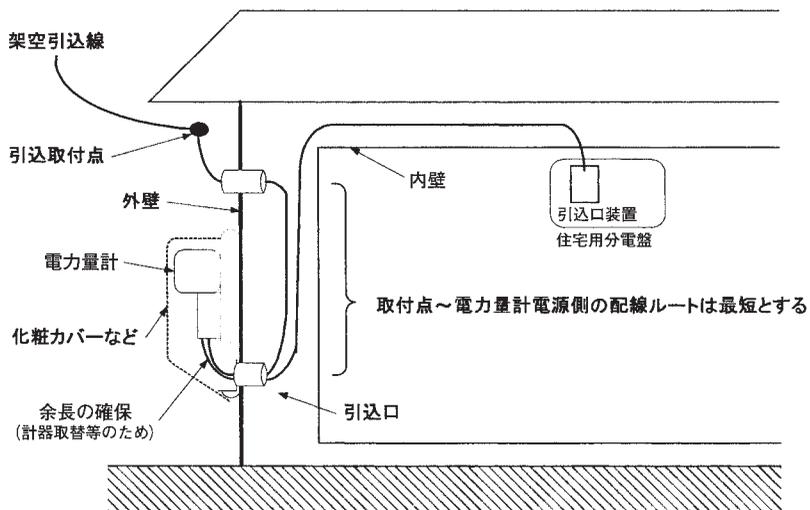
第12図 不燃構造建物における共用廊下天井ふところへの配線を行う場合の例



接続幹線からの分岐部分の例



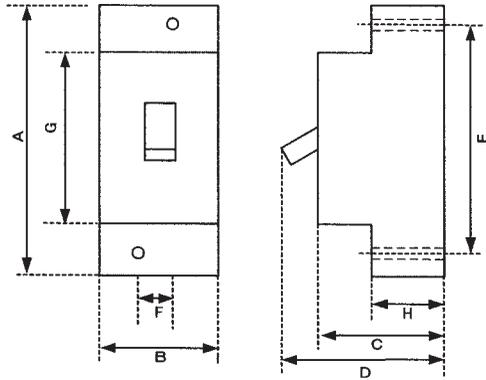
第13図 戸建て住宅において引込線を隠ぺいして施工した場合の例



## アンペアブレーカー取付位置図例

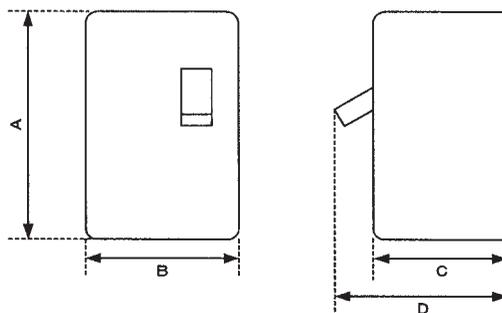
アンペアブレーカー寸法図（単位：mm）

アンペアブレーカー寸法図 単相3線式（単位：mm）

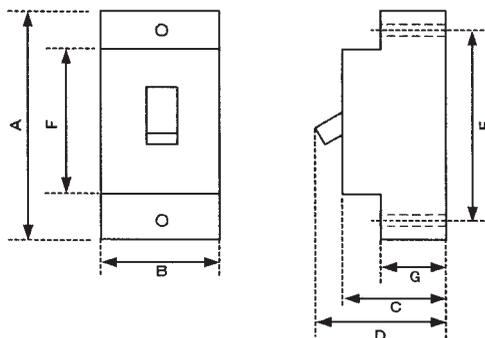


定 格	A	B	C	D	E 取付穴	F 取付穴	G	H
10A～60A	144	62	65	82	126	17	91	37
					斜取付 			

アンペアブレーカー寸法図 単相2線式 20A以下 (単位:mm)



アンペアブレーカー寸法図 単相2線式 30A (単位:mm)



定 格	A	B	C	D	E 取付穴	F	G
5A~20A	120	80	70	88	-	-	-
30A	120	62	53	68	100	75	34